

燕市に「農地等利用最適化の推進施策」に関する意見書を提出します。

－ 生産者たちの声を農業委員が取りまとめました －

燕市農業委員会は、農業の経営環境厳しい中、農業者との意見交換会などを通じて、生産現場の様々な課題の把握に努めております。農業の持続的発展及び担い手が誇りとやり甲斐を持って取り組めるよう、農業者からの生産現場の声をまとめた意見書を12月20日に燕市長に提出いたします。

【「農地等利用最適化の推進施策」に関する意見書提出の概要】

1.日時 令和5年12月20日（水）午後1時00分

2.場所 市長室 【要望先】燕市長 鈴木 力

3.提出者

燕市農業委員会 会長 和田 正春

燕市農業委員会 会長職務代理 本田 繁

燕市農業委員会 農地部会 部会長 長谷川 治仁

燕市農業委員会 農政部会 部会長 遠藤 忠夫

4.要望の背景

農業を取り巻く環境は、農業就業人口の減少と高齢化に歯止めがかからず、後継者不在による経営規模の縮小や離農が増えています。その結果、地域の農地を守る事が困難な状況になりつつあることに加え、気象変動の影響による農産物の品質低下などによる収入の減少、肥料や飼料などの生産資材の高騰が農業経営に大きな打撃を与えており、生産現場の声をまとめた意見書を農業委員が提出するものです。

「子育てするなら燕市で」



には理由がある。

本件についてのお問い合わせ先

農業委員会事務局：加藤

電話：0256-77-8250（直通）